

Plant Environmental Signaling

文部科学省・科学研究費補助金・新学術領域研究（研究領域提案型）

平成 27 年度～平成 31 年度

News Letter Vol.2 May 2016

目次

◆活動報告----- p.3

平成 28 年 3 月 7 日-8 日

第 2 回 領域会議

(東京大学農学部・フードサイエンス棟 1 階中島ホール)

平成 28 年 4 月 4 日-4 月 7 日

研究セミナー (イギリス Sainsbury Laboorary)

◆若手渡航支援----- p.5

平成 27 年 10 月 17 日-

木下班：特任助教 Yin Wang 氏

平成 27 年 11 月 5 日-28 年 1 月 6 日

福田班：近藤侑貴氏

平成 27 年 12 月 2 日-9 日

篠崎班：大濱直彦氏

平成 28 年 1 月 20 日-

杉本班：柴田美智太郎氏

平成 28 年 2 月-

杉本班：理研 CSRS 細胞機能研究チーム

平成 28 年 2 月 17 日-18 日

白須班：市橋泰範氏

平成 28 年 2 月 29 日-3 月 9 日

松永班：坂本卓也氏

平成 28 年 3 月 1 日-2 日、3 月 4 日-5 日

松永班：八木慎宜氏

◆アウトリーチ活動----- p.9

◆今後のイベント----- p.10

◆編集後記----- p.11

活動報告

平成 28 年 3 月 7 日-8 日

第 2 回領域会議 東京大学農学部・フードサイエンス棟 1 階中島ホール

第 2 回領域会議が東京大学農学部において開催されました。

今回の領域会議開催は篠崎班が担当しました。2 日間にわたり、今年度の計画班および支援班の研究成果についてディスカッションが行われました。

懇親会でも班員や若手研究者の研究討議が活発に行われ盛況でした。



セッションの様子



懇親会の様子



集合写真

平成 28 年 4 月 4 日-4 月 7 日

研究セミナー（イギリス Sainsbury Laboorary）

メンバーの白須賢が、連携先の Sainsbury Laboorary で研究セミナーを開催しました。

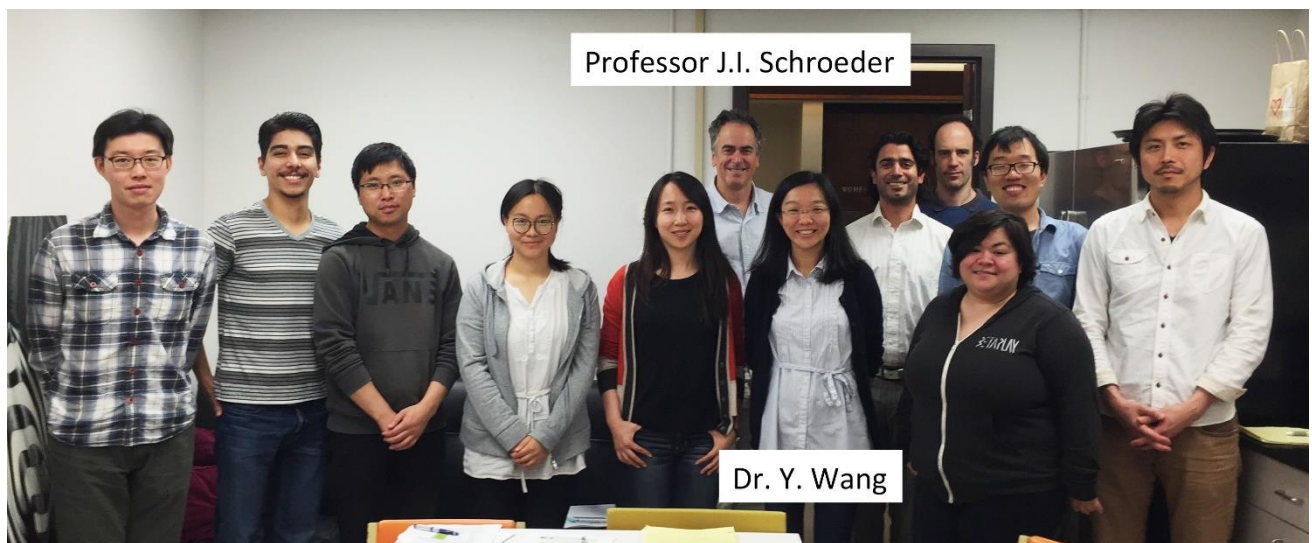


研究セミナーの様子

若手渡航支援

平成 27 年 10 月 17 日-

木下班の特任助教 Yin Wang がカリフォルニア大学サンディエゴ校にある Professor Julian I. Schroeder 研究室を平成 27 年 10 月 17 日から訪問しています。



平成 27 年 11 月 5 日-28 年 1 月 6 日

福田班の近藤侑貴が平成 27 年 11 月 5 日-28 年 1 月 6 日の日程で、イギリスにあるケンブリッジ大学の Yka's lab, The Sainsbury Laboratory を訪問しました。

平成 27 年 12 月 2 日-9 日

篠崎班の大濱直彦が、平成 27 年 12 月 2 日-9 日の日程でアメリカの The Rockefeller University にある Chua 研究室を訪問しました。写真左は学会会場となった建物。右は会場ホールとコールドスプリングハーバー研究所を丘の上から撮影したものです。



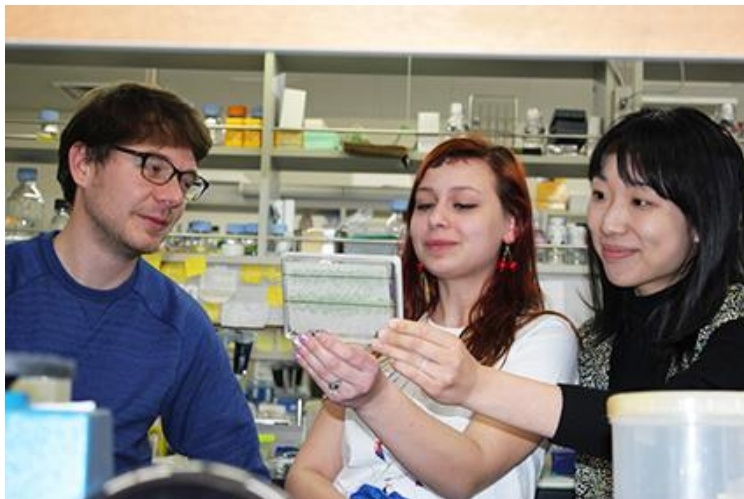
平成 28 年 1 月 20 日-

杉本班の柴田美智太郎が平成 28 年 1 月 20 日からアメリカのカリフォルニア大学デイビスの Prof Siobhan Brady 研究室を訪問しています。



平成 28 年 2 月-

フランスの École normale supérieure から Alice Lambomez が、杉本班の理研 CSRS 細胞機能研究チームを訪問中です。平成 28 年 2 月から 6 月中旬までの滞在予定です。



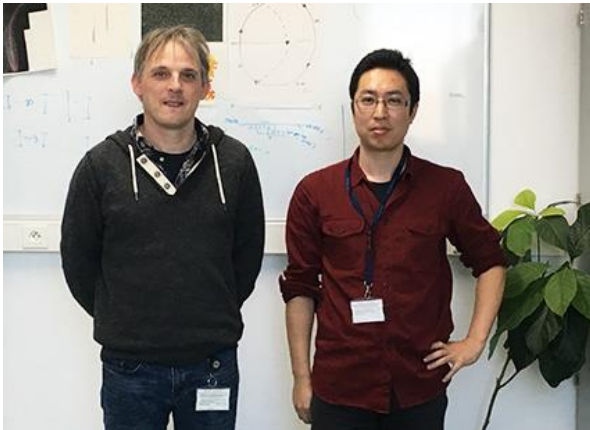
平成 28 年 2 月 17 日-18 日

白須班の市橋泰範が、平成 28 年 2 月 17 日-18 日の日程でイギリスの連携先である JIC と TSL, TGAC を訪問しました。



平成 28 年 2 月 29 日-3 月 9 日

松永班の坂本卓也が平成 28 年 2 月 29 日-3 月 9 日の日程でベルギーの VIB、イギリスの Oxford Brooks University、JIC の TSL と TGAC、スイスの Geneva university、Roseanne University、Zurich University を訪問しました。



平成 28 年 3 月 1 日-2 日、3 月 4 日-5 日

松永班の八木慎宜が、アメリカにある

カーネギー研究所の Dr. David Ehrhardt 研究室(平成 28 年 3 月 1 日-2 日)と

カリフォルニア大学 Dr. Bo Liu 研究室を(平成 28 年 3 月 4 日-5 日)を訪問しました。



アウトリーチ活動

平成 27 年度

日付	活動名	場所	活動内容	対象者	活動メンバー
7/1-3/31	プログラミングの講習	名古屋市昭和区学童保育	プログラミング教室を週 1 回開催	小学生	鈴木 孝征
7/3	Amgen サマープログラム キャンパスツアー	東京大学大学院農学生命科学研究科	北米を中心とした大学の学部生を対象とした研究室見学	大学生	篠崎 和子
7/22	小学生サマースクール	世田谷区立用賀小学校	サマースクールで実験「植物からDNAを取り出そう」を行った	小学校 6 年生	白須 賢
7/22	小学生職場体験学習	東京理科大学・野田キャンパス	研究室見学&体験	小学校 6 年生	松永 幸大
8/4	高校生対象研究室見学	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所	愛知県立春日井東高等学校の学生を対象とした研究室見学	高校生	木下 俊則
8/8	東京理科大学オープンキャンパス	東京理科大学・野田キャンパス	植物動態イメージングの紹介を展示ポスター前で行った	高校生一般	松永 幸大
8/9	小学生のための科学教室「サイエンスディスカバリーラボ」夏休みお楽しみ会	東京大学大学院農学生命科学研究科	研究室見学&体験	小学生	篠崎 和子
8/10	名古屋大学オープンキャンパス	名古屋大学・理学部	「新しい植物ホルモンを探し求めて」の題名で一般公開講演を行った	高校生一般	松林 嘉克
8/25	高校生対象研究室見学	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所	愛知淑徳高等学校の学生を対象とした研究室見学	高校生	木下 俊則
8/27	高校生対象研究室見学会	東京大学大学院農学生命科学研究科	武庫川女子大付属高校の学生を対象とした研究室見学	高校生	篠崎 和子
8/29	理研 横浜研究所オープンキャンパス	理研 横浜研究所	「植物を顕微鏡で見てみよう」の実験指導を行った	一般	杉本 慶子
8/29	理研 横浜研究所オープンキャンパス	理研 横浜研究所	「ブロッコリーからDNAを取り出そう」の実験指導を行った	小学生	白須 賢
10/16	高校生対象研究室見学会	東京大学大学院農学生命科学研究科	静岡県立榛原高等学校の学生を対象とした研究室見学	高校生	篠崎 和子
10/26	高校生対象模擬講義	岐阜県立各務原高等学校	岐阜県立各務原高等学校の学生を対象とした模擬講義	高校生	鈴木 孝征
11/14	スーパーサイエンスハイスクール	名古屋大学・理学部	「理学を知る」の課題で研究紹介を行った	高校生	松林 嘉克
2/21	科学技術振興機構・次世代人材育成事業・グローバルサイエンス	東京理科大学・神楽坂キャンパス	次世代の人材を育成するために、イメージング技術の魅力を高校生にわかりやすく解説および講義を行った	高校生	松永 幸大
3/5	第 17 回 静岡ライフサイエンスシンポジウム	静岡大学学生会館 大ホール	「光が拓く新たな生命科学の世界」をテーマに研究紹介を行った	高校生一般	木下 俊則

今後のイベント

平成 28 年 5 月 26 日-27 日

第 3 回 領域会議・テクニカルセミナー（東大弥生講堂一条ホール）

平成 28 年 9 月 16 日

日本植物学会 第 80 回大会・共催シンポジウム（沖縄コンベンションセンター）
「多様な植物現象を理解するためのイメージング：細胞内構造から環境応答まで」

平成 28 年 10 月 12 日-14 日

第 2 回 環境記憶統合 若手の会（熱海）

平成 28 年 11 月 29 日-12 月 2 日

Cold Spring Harbor Asia Conference 国際会議（淡路夢舞台国際会議場）

平成 29 年 3 月 8 日-9 日

第 4 回 領域会議（理化学研究所・横浜キャンパス）

編集後記

新学術領域「植物の成長可塑性を支える環境認識と記憶の自律分散型統御システム」が発足して 10 ヶ月が経過致しました。計画班では連携を密にするために、月 1 回のスカイプ会議が行われ、活動方針が議論されております。また、一般の方々や学生の方々へのアウトリーチ活動も昨年度だけで 15 件実施されました。さらに、若手渡航支援による海外研究機関との共同研究がスタートし、順調に研究活動を行われております。

新年度から公募班 19 班が加わり、更に本領域の研究活動が益々活発になることが予想されます。本領域ニュースレター「Plant Environmental Signaling」では、本領域の広報活動の中核となるべく、研究メンバーの活動をお伝えして参ります。領域ホームページ（検索キーワード：環境記憶）も併せてご覧ください。今後どうぞよろしくお願い致します。

平成 28 年 5 月 24 日 Plant Environmental Signaling 編集部

Plant Environmental Signaling

文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究

「植物の成長可逆性を支える環境認識と記憶の自律分散型統御システム」

編集人：松永幸大

発行人：木下俊則

発行日：平成 28 年 5 月 24 日

Copyright 2016 無断転載禁止

